

内閣 官房長官 表彰

トヨタ自動車株式会社（経済産業省推薦）

所在地：愛知県豊田市トヨタ町1番地

ユニバーサルデザインを、
講評 年齢・性別を問わず様々な人
が快適に、色々なシーンで楽
しむことを実現させる活動であると位置
づけ、車両の開発における取り組みはも
ちろん、ユニバーサルデザインに関する
各種啓発活動を積極的に行い、その推
進・普及に取り組んでいる点が高く評価
された。

車両の開発に際しては、人間工学的視
点からの独自の180項目の指標を設定して基本的な使い勝手を評価するとともに、開発車両
のコンセプトに応じた使用シーンを開発初期に30項目選び出してシーンや使い方の達成レ
ベルを目標設定し、その達成度合いを点数評価するなど、開発サイクルの中にユニバーサル
デザイン実現のための客観的な評価システムを組み込んでいる。平成15年以降発売する全
ての車両開発の際にこれらの指標による定量的な評価を行って、高齢者を含めた幅広いユー
ザーの安全性・快適性の向上を追求するとともに、その結果を公表している。また、人に優
しい車づくりを推進する際には、社会全体がユニバーサルデザインに対して正しい理解を深
め、必要性を感じる事が重要であるとの観点から、ユニバーサルデザインをテーマにした
大規模な展示施設「ユニバーサルデザイン・ショーケース」を設けた。そこには、他社・他
分野も含めた幅広いユニバーサルデザイン商品と共に、国内最大級の福祉車両の展示および
専用試乗コースが備えられている。さらに、各種講演活動等を通して、国内外におけるユニ
バーサルデザインの普及に努めている。



ラウム



ボルテ（写真はウェルキャブ（福祉車両））



ユニバーサルデザイン・ショーケース